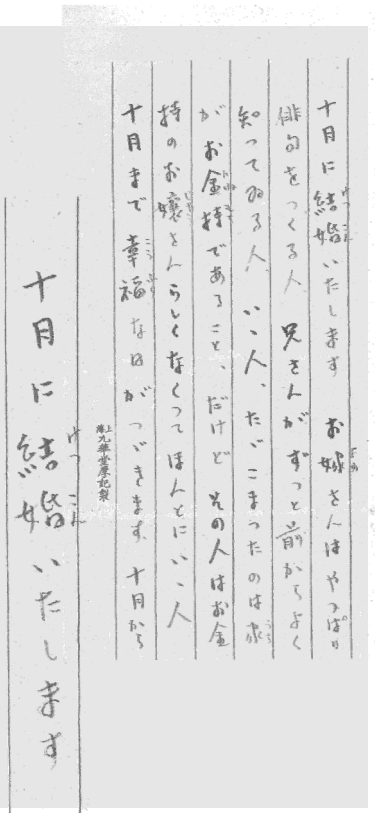
誓子は、二歳のときから外祖父母に育てられ、その後母も亡くなり、三人の妹たちとも離れて暮らさざるを得なくなりました。

平成三十年、神戸大学では、実妹の一人である「ホトトギス」の俳人 下田実花（しもだじつか）のご遺族から遺品や所蔵品のご寄贈を受け、その中に実妹たちや父との交流、および妻波津女との結婚について誓子の素直な気持ちも分かる手紙がありました。その公開も含めて、誓子の「俳人」としての姿だけでなく、家族という私的な姿に焦点を当てた展示を行います。

左より父 新助、誓子、妹 辰江、母 岑子

昭和３年撮影、婚約時の写真。誓子と波津女



十月に結婚いたします　お嫁さんはやっぱり俳句をつくる人　兄さんがずっと前からよく知ってゐる人　いゝ人、たゞこまったのは君がお金持であること、だけどその人はお金持のお嬢さんらしくなくってほんとにいゝ人　十月まで幸福なねがつきます　十月から

十月に結婚いたします

一九二八（昭和三）年八月三日付書簡より

実花芸妓姿

僕は　ずっと　君の事を　思ってるんです　お前や　お前の　姉さんを　どうにかして　幸福にして　やりたい

一九二四（大正一三）年三月二三日付書簡より

商賣が何だってかまはないのです

一九二三（大正一二）年一二月一八日付書簡より

≪交通案内≫

・阪急六甲駅、ＪＲ六甲道駅または阪神御影駅から神戸市バス３６系統「鶴甲団地行」乗車「神大文理農学部前」下車、南へ徒歩３分

・新幹線「新神戸駅」からタクシー約２０分